

連携の絆を深め、輝く明日へ



ニュースレポート 中央会

NEWS REPORT CHUOKAI

No.810

2023

9

令和5年度
中小企業団体全道大会



令和5年度
中小企業団体全道大会開催



第2回北海道中小企業
くみあい祭り開催



支部だより (釧根支部)

北海道中小企業団体中央会

Contents

- 01 令和5年度中小企業団体全道大会開催
- 06 第2回北海道中小企業くみあい祭り開催
- 10 苫小牧重機土木協同組合 創立50周年記念祝賀会開催/
「組合運営がデジタルで変わる～中小企業組合のDX入門～」セミナー開催
- 11 団体協約を活用しましょう
- 12 7月の道内景況
- 14 支部だより
- 16 中小企業大学校旭川校からのお知らせ
中小企業基盤整備機構からのお知らせ

さつでんきょういかづちかい

札電協雷會による「雷神輿」の渡御が行われました!!

とぎよ

8月5日(土)、札幌市で4年ぶりに開催された「すすきの祭り」で、札幌電気工事業協同組合(鈴木暁彦理事長、組合員数467名)の「札電協雷會」による「雷神輿」が渡御しました。雷會は、電気工事業界の関係者が一丸となって、神輿を通して組合の存在を広く市民にアピールするとともに、業界の社会的地位の向上を図ることを目的に平成8年7月設立され、組合青年部及び組合員企業やその家族などの組合関係者で組織されています。

当日は、猛暑の中で神輿渡御が催行され、4年間の空白を感じさせない息の合った掛け声ですすきのエリアを練り歩き、沿道の多くの方がその姿を写真に収める様子などが見られ、「すすきの祭り」は盛大に盛り上がりました。

当会の若手職員4名も雷神輿の担ぎ手として参加し、暑さや慣れない神輿に苦戦したものの、担ぎ手の皆様との一体感を感じる貴重な機会を得ました。

※渡御(とぎよ):神輿が進むこと。





令和5年度 中小企業団体全道大会開催

8月2日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて「中小企業団体全道大会」を開催し、全道各地から中小企業団体の関係者など約140名が参加しました。

主催者挨拶では、尾池一仁会長が「新型コロナウイルス感染症の長期化により、社会経済活動に大きな影響が及んだが感染法上の位置付けが第5類へ移行したことで、インバウンドの回復など経済活動の動きが見られ、コロナ禍前の状況に少しでも早く戻ることが期待されているものの、エネルギー・原材料価格の高騰や円安の進行懸念、物価高など、様々な問題から依然として厳しいものとなっている。私ども中央会がスローガンとして掲げる『連携の絆を深め、輝く明日へ』のもと、政治や行政をはじめとする関係者のご理解を得て会員の皆様の先頭に立って可能な限り実現させていきたい。」と決意表明を行いました。

次いで来賓を代表して、北海道経済産業局 岩永正嗣局長、北海道 濱坂真一副知事、北海道議会 稲村久男副議長、札幌市 石川敏也副市長から、それぞれご祝辞をいただきました。

また、各政党を代表して自由民主党北海道支部連合会 中村裕之会長、公明党北海道本部 阿知良寛美幹事長、立憲民主党北海道総支部連合会 逢坂誠二代表からご挨拶をいただきました。

議案審議では、杉野邦彦副会長（江別工業団地協同組合理事長）が議長となり、前年度決議に関する要望活動状況の報告について、柄目事務局長から報告を行いました。

続いて、松浦専務理事から提出議案の趣旨説明が行われ、満場一致で決議されました。今後、国や道などの関係機関に対し「要望活動」を展開していくこととなりました。



北海道経済産業局 岩永局長



北海道 濱坂副知事



北海道議会 稲村副議長



札幌市 石川副市長



尾池会長



議長 杉野副会長



松浦専務理事



柄目事務局長

令和4年度要望の実現状況(主なもの)

● 原油・原材料価格高騰等に関する要望

1 原油・原材料価格の高騰抑制に係る支援策の拡充

- ・「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の実施
- ・「燃料油価格激変緩和対策事業」の実施

2 価格転嫁に関する支援

- ・ヒアリングによる実態調査を行う下請Gメンを令和5年1月より300名体制へ増強
- ・取引先との共存共栄を発注者側企業が宣言する「パートナーシップ構築宣言」の推進

● 新型コロナウイルス感染症に関する要望

1 事業継続に向けた切れ目のない支援策の実施・拡充

- ・国：「中小企業生産性革命推進事業」を予算措置
- ・道：「中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金」を創設

2 地域経済の需要喚起策の実施

- ・国：「全国旅行支援事業」の実施
- ・道：「HOKKAIDO LOVE!割」・「ほっかいどう応援クーポン」、「プレミアム商品券」の発行支援の実施

● 中小企業・小規模事業者の持続的発展に関する要望

1 環境変動の影響を受ける水産業・林業関連事業者への対策強化

- ・道：道産建築材の供給力強化を図るため、「林業・木材産業改善資金貸付事業」による修繕・回収を支援し、道産木材の安定供給のための措置
気候変動や海洋環境の変化等に係る水産業対策の「漁業生産の早期回復」のほか、「主要魚種の資源減少要因の解明」・「赤潮被害地域への対策」などの取組

2 「ものづくり補助金」の継続実施

- ・令和4年度2次補正予算により補助上限額の引上、グリーン枠の拡充、海外展開支援の拡充が図られ、令和6年まで継続実施

3 政策金融機能の維持・強化

- ・改正商工組合中央金庫法が成立し、公布後2年以内に政府保有の株式を全て売却することになったが、中小企業、小規模事業者の不測の災害・経済環境の激変時に円滑な資金供給のための「危機対応業務」が継続措置

提出議案

エネルギー・原材料価格高騰等に関する要望

中小企業・小規模事業者にとって、エネルギー・原材料の価格高騰は、事業継続に大きな影響を及ぼし、事業の維持・継続を図るための収益を圧迫しているため、高騰抑制策や、コスト削減に対する支援とともに、十分な価格転嫁が実施できるよう、円滑な価格転嫁に係る支援策を講じるよう強く求める。

【重点要望事項】

- エネルギー・原材料価格の高騰抑制に係る支援
- 価格転嫁に関する支援

新型コロナウイルス感染症の影響克服に関する要望

新型コロナウイルス感染症は、長期間にわたり本道経済や道民生活に影響を及ぼし、業績や資金繰り等の改善が進まず、事業継続が懸念される事業者も出てきている。

これまで、国や道・市町村による支援策が措置されているが、時間の経過とともに中小企業・小規模事業者に寄り添った支援策が求められており、地域の実情を踏まえるとともに柔軟な対策が講じられるよう強く求める。

【重点要望事項】

- 事業継続に向けた切れ目のない支援

デジタル社会への対応に関する要望

人口減少や基幹産業の衰退など、地域経済や生活基盤への影響を克服するためには、中小企業・小規模事業者のデジタル化への対応が必要なことから、中小企業連携組織の優位性を活用した支援策の拡充を求める。

【重点要望事項】

- デジタル化に向けた支援

グリーン社会への対応に関する要望

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けたグリーン社会への対応は、急速な社会環境の変化をもたらし、中小企業・小規模事業者がこれまで経験したことのない大変革となることが予想される。

こうした中、中小企業・小規模事業者が事業継続していくためには、柔軟で前向きな取組と挑戦が必要となることから、その機動性を活かすための支援を講じることを求める。

【重点要望事項】

- グリーン社会への対応に向けた支援

地域経済対策

本道の経済は、全体として緩やかに持ち直しているものの、物価高騰などによる経済情勢等から、依然として厳しい状況となっている。

加えて、賃上げや人手不足、デジタル化への対応などの社会環境変化や災害の多発などの自然環境変化への対応に迫られている。

このため、地域の担い手である中小企業・小規模事業者の事業活動を活発にし、地域経済全体を底上げすることができる対策を積極的に講じることを求める。

【重点要望事項】

- 地域実情を踏まえた最低賃金の設定
- 消費税インボイス制度の対応に係る支援
- 「物流の2024年問題」への対応
- 低廉で安定的な電力供給のための対策の強化

人材・雇用対策

地域の少子高齢化や働き手の流出による労働力人口の減少、新規学卒者等の若年者の非現業志向・離職率の高さなどから、人手不足を定年後の雇用延長等に頼らざるを得ない状況となっている。

このような中、中小企業・小規模事業者は、働き手を確保し事業継続を図るとともに、働き方改革への対応にも取り組む必要があることから、地域の実情を踏まえた人材・雇用対策を総合的に講じられることを求める。

【重点要望事項】

- 働き方改革に係る対応支援の拡充
- 地域の就業対策と技術・技能人材の育成・承継支援

中小企業・小規模事業者対策

中小企業・小規模事業者は、地域の経済と雇用を支える存在として地域を活性化させ、発展に導く重要な役割を果たしてきたが、少子高齢化による人口減少による社会環境や産業構造の変革などの事業環境の変化に伴い、その活力の低下が懸念される。

地域の閉塞感を打開し、持続的発展を可能にするためには、中小企業・小規模事業者の事業活動を活発化させることが重要であることから、その妨げとなっている問題を解決するためのきめ細やかで実効性のある対策を積極的に講じることを求める。

【重点要望事項】

- 中小企業連携組織対策の支援策拡充
- 「ものづくり補助金」の継続実施

官公需対策

国の「中小企業者に関する国等の契約の方針」と、道の「中小企業等に対する受注機会の確保に関する推進方針」により、受注機会の増大のための手立てを講じているものの、それぞれの契約現場では、趣旨理解の意識は高まっておらず、中小企業・小規模事業者への発注は十分とはいえない状況にある。

このため、国及び道の方針の趣旨を発注部局や市町村に対し周知徹底するほか、地域の防災等の観点からも中小企業・小規模事業者への官公需対策の強化を求める。

【重点要望事項】

- 官公需の受注機会確保と増大の徹底及び少額随意契約の積極的活用
- 官公需適格組合制度の積極的活用

商店街対策

商店街は専門性を持つ異業種の集積として、買物やサービス提供の場としてだけでなく、文化の伝承や防犯活動、災害時の復旧支援、高齢者対策や子育て活動の場として、コミュニティを支える公共的な高度生活インフラの役割を担ってきた。また、人口減少や少子高齢化が進展し、今後さらに、まちづくりを支える中核的な組織として、多様なニーズに応える活動が期待されている。

このため、まちづくりを支える中核的な組織と位置づけ、十分にその機能を発揮することができるよう、商店街が行う取組や活動に対し中長期的な支援を行うことを求める。

【重点要望事項】

- まちづくりを支える中核的組織としての位置付けの明確化及び支援

中央会会長表彰

永年にわたって組織の強化や事業の発展に功績のあった、優良組合(1組合)・組合等功労者(役員7名、組合員4名)・優良組合専従者(1名)に対し、北海道中央会会長による表彰が次の通り行われました。

優良組合

砂川道路管理協同組合 代表理事 橋爪 信博

組合等功労者

〈役員〉

菊地 文彦(札幌左官工事業協同組合 理事)
菊地 幸博(恵庭まちづくり協同組合 理事)
今野 弘隆(千歳市環境整備事業協同組合 専務理事)
京塚 啓司(北見地方中古自動車販売事業協同組合 代表理事)
三土 壽廣(砂川道路管理協同組合 理事)
西澤 弘(小樽地方電気工事協同組合 監事)
内山 高茂(小樽地方電気工事協同組合 前監事)

〈組合員〉

朝日通商株式会社(札幌鉄工関連協同組合)
代表取締役社長 佐藤 克範
株式会社エヌ・ケーエンジニアリング(千歳市環境整備事業協同組合)
代表取締役 興村 俊弥
株式会社 久保製作所(函館管工事業協同組合)
代表取締役 久保 晴美
釧路電設株式会社(釧根電気工事業協同組合)
代表取締役 齋藤 修嗣

組合等優良専従者

松原 正樹(千歳市環境整備事業協同組合 総務部次長)



記念講演

札幌新陽高等学校 校長でウィーシュタインズ株式会社 代表取締役の赤司展子氏を講師に迎え、「人生100年時代のキャリアの描き方」と題した記念講演が行われました。講演では、「複業をする校長」としてご活躍されているご自身のキャリアや起業、校長になるまでの経緯のほか、高校の変革に係る前例主義の撤廃や校則を変更するといった具体的な事例も紹介いただき、企業経営にも活用できる記念講演となりました。



記念講演の様様につきましては、当会ホームページ会員ページ内「講習会資料」に動画を掲載しています。

懇親パーティー

記念講演会終了後の懇親パーティーでは、当会尾池会長の旭日小綬章受章のお祝いの会が行われるなど、終始和やかに交流が行われました。



第2回

北海道中小企業 くみあい祭り開催

昨年、当会の新規事業として、札幌地下歩行空間「チ・カ・ホ」で開催し好評をいただきました「くみあい祭り」を、今年度は7月22日(土)、23日(日)の2日間、サッポロファクトリーで開催しました。期間中は約4,000人の来場者が訪れ、21組合の出展による個性豊かな製品販売や、体験会、ワークショップ等が行われ、多くの来場者が各組合の持つ魅力に触れることができました。

また、組合ブランドの商品を販売するブースでは、両日とも雲一つない晴天に恵まれたこともあり、多くの来場者が生花、工芸品、野菜・肉・魚などの加工品や夏ならではの飲食メニューを楽しんでいる様子が見られました。特設ステージでは、「カーム」氏によるジャグリングを使ったパフォーマンスショーのイベントに加え、会場内を回遊して来場者の子供達にバルーンアートを配り笑顔があふれていました。

他にも、ステージでは、全出展者によるPRタイムや商品紹介が行われ、組合の魅力を発信したほか、組合キャラクターが、地下1階から屋外の各所を練り歩き、来場者の家族と写真撮影を行うなど、サッポロファクトリーの会場を最大限に活用し、盛り上げていました。

当日は、来場者に当会職員がアンケート兼スタンプラリー用紙を配布し、各出店ブースを巡っていただき、抽選で豪華景品が当たる「くみあい祭りスタンプラリー」を実施し、昨年以上に多くの来場者にご参加いただきました。

次ページより全21組合および中央会、ものづくり補助金北海道地域事務局を含めた全23ブースの模様を紹介いたします。



ジャグリングの様



メイン会場の様子



抽選会の模様(メロンが当選!!)

～ 出展組合紹介 ～



札幌市管工事業協同組合

真剣な眼差し！ 0歳児から青年まで多くの方がここでしか楽しめない輪投げゲームにチャレンジしていました。



札幌左官工事業協同組合

塗り壁体験が大人気！ 実際に体験して左官工事の奥深さを知ることができました。



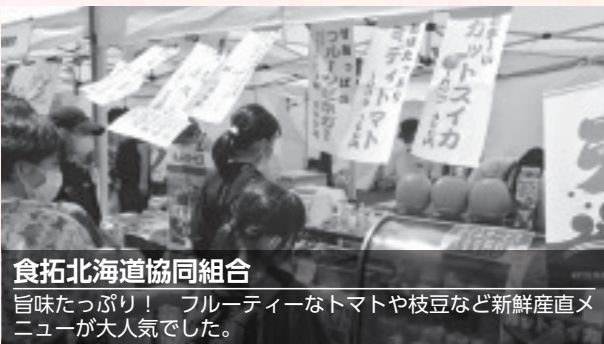
黒千石事業協同組合

購入者には、黒千石大豆を使ったオリジナルレシピも配布するなど料理に挑戦したくなるブースとなっていました。



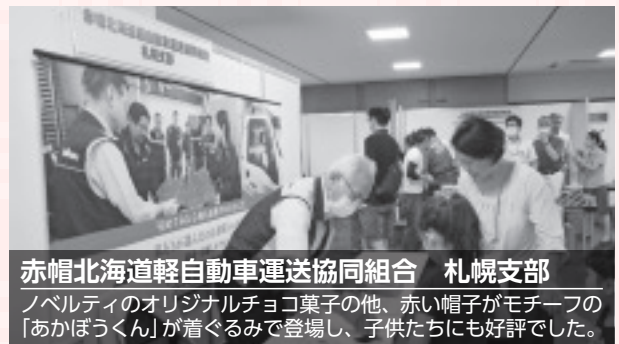
商業協同組合 苫小牧港市場 海の駅 ぷらっと港市場

苫小牧の名産品である「ホッキ」の他、6種類の「ジンギスカン」も販売されており、食べ比べをしている方もいました。



食拓北海道協同組合

旨味たっぷり！ フルーティーなトマトや枝豆など新鮮産直メニューが大人気でした。



赤帽北海道軽自動車運送協同組合 札幌支部

ノベルティのオリジナルチョコ菓子の他、赤い帽子がモチーフの「あかぼうくん」が着ぐるみで登場し、子供たちにも好評でした。



企業組合 ウェルフェアグループ

手頃なお値段でクッキーやサブレなど、手作りされた洋菓いやペット用品を販売されていました。



ニセコフードコミッション企業組合

お米や米粉など、ニセコが持つ自然の素材を生かした多種多様な商品を販売されていました。



北海道水産物加工協同組合連合会

一尾まるごと！ ニシンの甘露煮など、北海道で獲れる水産資源をふんだんに生かした加工品を販売されていました。



OKHOTSK FOOD CONCERTO 協同組合

オホーツクの風土を生かしたオリジナル製麺やミートソースなどを販売されていました。



北海道牛乳事業協同組合

北海道の大自然でのびのび育った牛の牛乳や飲むヨーグルト、加工品などが販売されていました。



南北海道地産物流協同組合 焼肉みなほっ

木古内町の黒毛和牛「しんきん牛」のステーキ串や鹿部町のタラコをまるごと入れた焼きそばなど、渡島地域の素材が振る舞われました。



協同組合さくらシール会

マンツーマンで足型の測定、オリジナルインソールの提案が行われ、長蛇の列が出来ていました。



札幌整振自動車事業協同組合

ミニカーがもらえる抽選会が実施されて、多くの子供達が足を止めていました。



苫小牧地方青果商業組合

うだるような暑さにぴったり！ フロートやカットフルーツなどが販売され、多くの方が涼を求めていました。



白老観光事業協同組合

特殊な織り方による鞆や工芸品、先住民族から受け継がれた衣類などが販売されていました。



旭川林産協同組合

上川地方の木材資源を生かし、大変綺麗な木目が目を引く木材加工品が販売されていました。



札幌生花商業協同組合

ひまわりなどの生花品の販売はもちろん、子供を対象にした英会話教室も行われており、ブースでは英語が飛び交っていました。



北海道中古自動車販売商工組合

風船の配布やノベルティ抽選会も行われた他、キャラクターの「子グマのマークン」のパフォーマンスが子供達の目を引いていました。



旭川家具工業協同組合

木工品の製作体験の他、木製の銃を使用した「射的ゲーム」も行われており、多くの方が楽しんでいました。



北海道中小企業団体中央会

スタンプラリー用紙の配布の他、中小企業組合制度のポスター掲示やチラシの配布を行いました。



協同組合北海道イベントプロモーション協会

ミニ四駆の製作体験や実際に作った車を走らせるコーナーがあり、多くの皆さんがミニ四駆の疾走に釘付けになっていました。



ものづくり補助金北海道地域事務局

ものづくり補助金の採択事例（どのような業種に導入されたのか）などをポスターでの掲示で周知を行いました。



えんとつひろばブース



ファクトリールームブース①



ファクトリールームブース②

お問合せ先

北海道中小企業団体中央会 (担当：連携支援部)

札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階 TEL:011-231-1919 FAX:011-271-1109

苫小牧重機土木協同組合 創立50周年記念祝賀会開催

7月22日、苫小牧重機土木協同組合（藤田 俊一理事長、組合員数16名）の創立50周年記念祝賀会が、苫小牧市のグランドホテルニュー王子において54名の出席のもと開催されました。

同組合は昭和48年9月に設立され、苫小牧市と「重機賃貸借契約」や「除雪業務契約」などを締結しており、沼ノ端区画整理事業や高丘第二霊園工事を施工してきました。

記念祝賀会では、藤田理事長が式辞で「台風や豪雨により自然災害発生時に当組合員16社が、緊急災害復旧の要請に対応できるよう心がけている。冬期間には、除雪車両を約62台運行し、技術の向上を図るためにオペレーター研修などを実施しながら、苫小牧市民の安全な道路の確保に努めていきたい。また、創立記念日である7月22日を当組合の『第二の創業期』として位置づけ、次代を担う人材の育成と活気ある組織づくりに全力で取り組む。」と今後に向けた決意を述べました。その後、優良者及び功労者に対し、永年にわたる功績をたたえ、北海道中小企業団体中央会会長表彰が授与されるなど、盛会のうちに締めくくられました。



組合運営がデジタルで変わる～中小企業組合のDX入門～ セミナーを開催しました

本会では、7月27日にホテルポールスター札幌において「組合運営がデジタルで変わる～中小企業組合のDX入門～セミナー」を開催しました。当日は、会場参加とZoomによるオンライン参加を併用したハイブリッド形式で実施し、合わせて28名が参加しました。

DX（デジタルトランスフォーメーション）は、企業において、デジタル技術を活用して企業体制や事業を革新することで、生産性や競争力を増加させる取り組みです。組合においてもDXの必要性が高まってきており、今回は当会が製作した「中小企業組合デジタル化（DX）推進ガイドブック」に基づきDXの理解及び組合におけるデジタル化のポイント等についてセミナーを行いました。講師には、戦略経営ネットワーク協同組合の田坂和副理事長を迎え、DXの概要、導入事例と失敗事例、DX経営のススメ、デジタルツール導入と活用、デジタル化支援制度、情報セキュリティ対策などの内容をご講演いただきました。



団体協約を活用しましょう

団体協約が結ばれると……

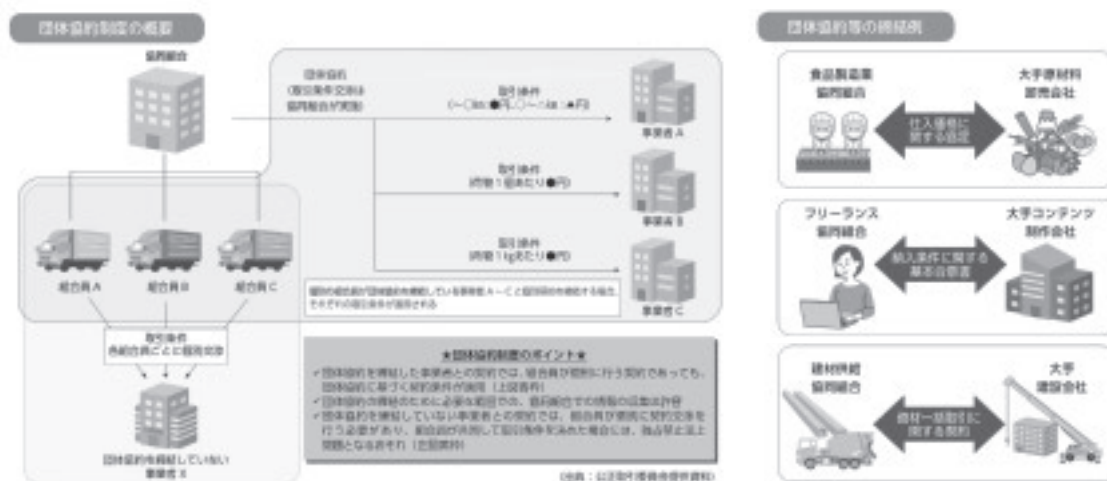
組合員と取引関係にある事業者と中小企業組合が団体協約等と結ぶことによって、「**取引条件を決める**」ことができます。

具体的には……

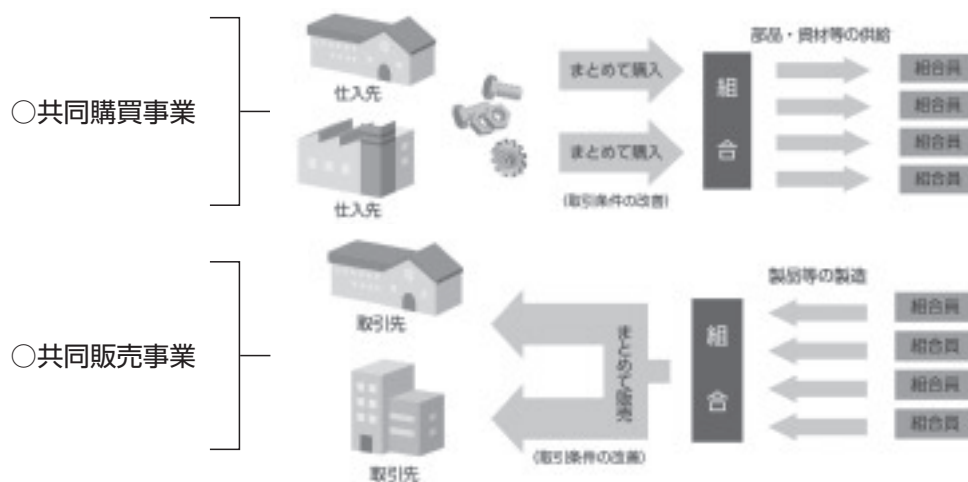
- 納入する製品やサービスの**最低価格**を設定できます。
- 納品に係る**支払条件**（支払期日、支払方法など）を決められます。
- 納入する製品の品質、提供するサービスの**最低条件**を設定できます。

※団体交渉が認められるために備えていることが必要な条件（法的要件）があります。詳しくは中央会（本・支部）までお問い合わせください。

団体協約等の締結で「**適正な取引**」を実現！



組合の活動を通して**取引条件の改善、価格交渉力の強化**を！



参考：全国中小企業団体中央会団体協約PRペーパーより

組合の活動を通して取引条件の改善、価格交渉力の強化を進めましょう！

7月の道内景況 情報連絡員レポート

コロナ禍前に人流は戻りつつあるが、エネルギー価格高騰や人手不足が景気回復への足かせとなっている。

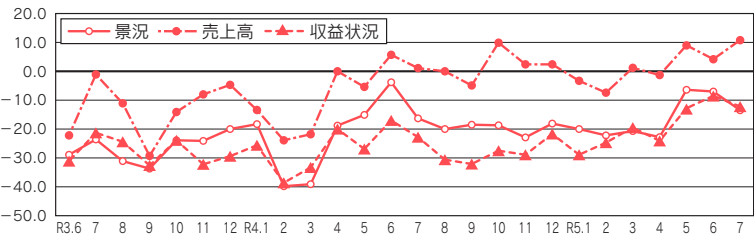
概況

前年同月との比較では、「景況」、「売上高」、「収益状況」の全てが改善している。

また、6月から7月の推移では、「景況」、「収益状況」は低下しているが、「売上高」は、改善している。

情報連絡員によると、製造業からは、物流の動きが鈍く、受注量が減少していることや人材の確保がより困難になっているなどの声が寄せられている。非製造業からは、インパウンドの増加やインターハイの開催により、人の往来が増えた影響から、来道客の入込みがコロナ禍以前に戻りつつあるとの声がある一方で、電気料金や燃料費価格の高止まりに加え、人手不足や人件費の上昇が経営を圧迫し、苦慮しているとの報告があった。

主要DIの推移



景況天気図(前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
業界の景況	△7.0	△13.3	△6.3	△29.2	△25.0	△4.2	4.3	△7.8	△12.1
売上高	4.2	10.7	6.4	△8.3	△16.7	△8.3	10.6	23.5	12.9
収益状況	△8.5	△12.0	△3.5	△29.2	△25.0	△4.2	2.1	△5.9	△8.0

(凡例) 30以上 10~29 9~10 11~29 30以下

	全業種			製造業			非製造業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
販売価格	31.0	29.3	△1.7	20.8	12.5	△8.3	36.2	37.3	1.1
取引条件	△7.0	△9.3	△2.3	△8.3	△8.3	0.0	△6.4	△9.8	△3.4
資金繰り	△1.4	△6.7	△5.3	△4.2	△12.5	△8.3	0.0	△3.9	△3.9
雇用人員	△8.5	△12.0	△3.5	0.0	△8.3	△8.3	△12.8	△13.7	△1.0

天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(DI)をもとに作成。天気表示は凡例のとおりです。

製造業

木材・木製品

- 7月期のトドマツ原木の工場への入荷は、6月期同様、順調に推移しており、落ち着いている。市況については、在庫が不足している状況ではなく、弱保合で推移している。また、国有林材のトドマツ一般材の一部が不落となっている状況にあり、各製材工場は、受注が思わしくなく、流通業者も低価格での注文であることから大径材が敬遠されている。
- 7月期のカラマツ原木についてもトドマツ原木同様に、順調に推移している。先月に引き続き、需要が落ち込んでいることから、原木不足は解消され、必然的に在庫が増えており、市況についても弱保合で推移している。また、国有林材のカラマツ一般材の一部が不落となっている状況にあり、道内及び本州の方面の合板工場が引き続き生産調整をしていることから、在庫が港に溢れ、買い控えられた。しかしながら、一部でカラマツ一般材が落札されており、状況を聞き取った結果では、小・中径材は良いが大径材では価格が合わないことから敬遠されている。
- トドマツ製材市況は、先月に引き続き景気後退等の影響により、新規住宅需要が芳しくないことから、受注は減少している。産業資材も減少傾向で推移している。価格は弱気配~保合の状況にあり、カラマツミナーについても、減少傾向で推移している。また、市況はカラマツ、エゾ・トドマツは弱含みが見込まれる。紙原料は、不足気味で原料材価格が上昇しており、原料の取り合いが全道的に見られている状況であるが、国内チップ買取価格の上乗せはなく、希望価格にはほど遠い状況が続いている。木質バイオマス原料については、順調に集荷されている。先月に引き続き地域によっては大口発電や小口発電が動き出していることから不足している。(全道)
- 中国経済の回復遅れや国内の住宅着工数の減少、更に物価高騰による消費者の購買意欲の減少などが影響しているのか、物流の活発な動きがみられない。その結果、パレットや梱包材の物流資材の消費が停滞していることで、製材受注量も回復していない。(十勝)

窯業・土石製品

- 7月の生コン出荷量はおよそ321千m³。(前年同月比92.5%)
 - ・地域別には、前年同月を上回った分会は27分会中、12分会で、前年(増加は9分会)を上回った。前年同月と比較して、増加したのは千歳地区、西十勝、北東十勝など。一方、減少したのは道南、宗谷、釧路などであった。(全道)
- 釧路地域では、公共事業のうち路盤整備工事が減少傾向にあるため、砂利・砂の需要が伸び悩んでいる状況(高規格道路工事の本格化による需要増に期待している)。
 - ・販売価格は4月に上昇したものの、燃料や電気代の高騰などにより収益は向上かない。
 - ・従業員が高齢化する中、人材の確保はますます困難になっている。(全道)
- 7月も大型物件が少ない中で、受注出来ていた官庁物件(学校)の残工事の売上が上がり、昨年実績を上回ることが出来た。しかし、それ以外は中小規模の

改築や新築住宅向けの売上ばかりである。(全道)

一般機器

- 物価や材料費高騰、電気料金値上げの影響で全体的に受注の動きが悪い。(札幌)
- 業界の景況については“好転”としているが“上向き傾向”の状況である。(帯広)
- 資材・燃料・電気代の高騰が継続している。
 - ・資材の入荷が遅れ気味である。
 - ・観光・サービス業は上向き傾向である。新幹線延伸に関連して土木資材は動き出したが、まだ一部のみ。(全道)

その他

- 味噌出荷量(道内): 単月(令和5年6月) 前年対比 89.1%
 - 累計(1月~6月) 前年対比 94.3%
- 醤油出荷量(道内): 単月(令和5年6月) 前年対比 101.6%
 - 累計(1月~6月) 前年対比 103.0%
- 味噌出荷量(全国): 単月(令和5年6月) 前年対比 95.7%
 - 累計(1月~5月) 前年対比 95.7%
- 令和5年6月の道内単月の出荷量は、味噌は相変わらず悪く、醤油は前年対比増。1月~6月の味噌・醤油の累計実績も同様の傾向。全国の1月~5月の味噌・醤油の累計出荷量実績も悪い。
- 出荷量減が組合の原材料の共同購買事業にも影響し、手数料収入にも影響が出てくる懸念がある。(全道)
- 悪いながらも荷動きが多少活発化している。観光客は増加しているが、人手不足感がよりいっそう強まっている。
 - ・数量の伸びのなさを多くのメーカーは価格を維持して耐えている体制だが、一部の大手グループは量の確保に動いている。
 - ・企業としての差別化の方向として、ゼロカーボンに取り組む企業が出始めた。(全道)

非製造業

卸売業

- インパウンドの増加とコロナが5類に移行したことによる国内消費活動の進展により、全般的に売上高は増加している。一方で感染症は増加を続けており、検査機器・試薬等の売上も増加している。
 - ・靴・履物・鞆等では小売の廃業や再編が進み、卸の販路が狭くなりつつある。
 - ・雇用人員は減少傾向で、人材の確保が難しいとの声が多い。
 - ・組合施設の会議室・展示室需要はコロナ以前を上回る回復状況で、好調な稼働率となっている。(札幌)
- 令和5年7月期の当組合買付高は仲卸、荷受1,918,608千円で、先月の6月期実績額1,691,166千円より227,442千円ほど増加した。夏場の中元需要の増加と生鮮品の高値に押された形である。
 - ・8月の夏休み時期における観光需要の増加に期待したいが、内消費は低迷

しており、今後も予断を許さない状況である。(道央)

- 全道で7月の気温が上昇したため、夏物機器の販売が増加し、在庫の売上高が進捗している。(全道)

小売業

- 前年比較 物販見込 98.8%
金融 94.7%

・インターハイの旭川開催、観光客の増加により、宿泊施設は満室状態で宿泊料金が高騰している。商業施設や飲食店は込み合い、旭川全体の景気は上昇していると思われるが、地元顧客の売上は各種値上げが影響し、前年割れとなる。(旭川)

●十勝では7月下旬より最高気温が35度前後の猛烈な暑さが続いており、7月26日には十勝で初めて熱中症警戒アラートが発令され、その日から3日連続でアラートが出るなど異例の事態になっている。帯広は7月24日～8月2日まで10日連続30度以上となり、その内4日間は猛暑日だった。そんな中、帯広の街中では、ビアフェスタなど、多数のイベントが開催されている。8月4～6日には、七夕祭りが開かれる。この七夕祭りは66回目を数える帯広の夏の風物詩で、紙花などで作る大型の七夕飾りが、アーケードを彩り人気を集める。七夕飾りを作成するにあたり、作業時の密を懸念してコロナ禍では中止していたため、4年ぶりの開催となる。七夕祭りに合わせ、ビアガーデンやTシャツひらひら展示なども企画される。暑さの中、これらの多彩なイベントで心もお腹も満たして街の活性化に繋がれば嬉しい。(帯広)

●7月に入り観光客(中国)が増加している。しかし、コロナ以前の爆買いする客層ではない。当市場には2軒の食堂があるが、両店は場内で買った商品を持ち込んでの食事は断っているため、中国のお客様のニーズに合っていないためか、買い物せずに帰る人が多い。また、会社の御中元はコロナ以前に戻っていない。一方で、一般のお客様が自分のために高額な商品を購入している。(小樽)

●7月については「前年よりは微増」との回答が比較的多かったが、エネルギー価格の高騰により、収益はさほど変わっていない。市内では、観光客が急激に増加したことでホテルや飲食店などは連日賑わいを見せているが、衣料、宝飾、化粧品等を扱う店舗が大半の当組合員店においては、残念ながら消費の対象になっていないのが実情である。
・携帯電話販売業、旅行業、保険業の3事業中、旅行業が秋の旅行シーズンに向け活発な動きとなっている以外は依然厳しい状況が続いている。(釧路)

●昨年同月より仕入価格が下がっているため、収益は上昇している。しかし、節約のためか販売数量は落ちているので、経営状況が好転したとは言えない。(稚内)

●7月3日のWTI原油価格は69.79ドルで、先月から見て0.31ドルの反落でスタートした。これは、米国の経済指標が低調だったことが主要因とみられる。その後OPECが世界のエネルギー需要が上振れするとの見方を示したことから、世界的な需要が引き締まるとの見方で大きく反発した。31日のWTI原油価格は81.80ドルとなっている。
・7月は国の元売りへの補助の減額、更に原油価格も大きく変動し、末端市況も大きく上昇改定となった。
・毎月のごとく量販店の価格に追従せざるを得ない状況から、利益は圧縮状態となっている。
・6月からは元売りに対する補助が10%減額、以降2週ごとに10%追加減額となっている(補助額の縮減)。そのため、今後原油価格変動により末端価格が大きく変動する可能性がある。(旭川)

●商品価格が高騰し、ママチャリの価格は4万円超えとなっている。
・売上げの減少が止まらない。(全道)

●今月14日で終了した「全国旅行支援」の電子クーポン利用は、函館朝市でも年明けから順調に推移し、今月は半月ながら5月とほぼ同等の利用額となり、1月から終了までの期間合計額は、4200万円以上の額面規模となった。おかげさまで繁忙期に入り、終了後も連日観光客で賑わいをみせ、コロナ禍前と遜色ないほどの入込となっている。(函館)

●観光のお客が増え、料理店・納品業者が忙しくなっている。ホテルの利用者数もコロナ前の状況に近づいてきている。仕入価格が上がり利益額が厳しいが、売上は良くなっている。9月、10月の秋鮭やサンマの取れ高等の状況によって、今後の経営に大きな影響が出るため、動向を注視していく。
・電気・ガス価格高騰により固定費が上がり、厳しい。今後、ガソリン料金の上昇がどうなるかで、経費の負担が大きくなる。(道央)

●売上高対前年比111.5%の実績。
・上期(R5.1～6月)対比では、売上高対前年同期比110%の実績。大口先の買い増し、仕入値引き上げに伴う売価の値上げなどを主因に増収となり、コロナ前の売上高を上回った。(札幌)

●コロナ5類移行後、消費動向がイベント・旅行へ移り、電気代の高騰もあったことで、耐久消費財は低迷している。今年は特に暑い、寒冷地のエアコンは苦戦している。(全道)

●大手業者の不正問題により、業界全体が冷え込んでいる雰囲気はあるが、お客様と信頼関係が築かれているお店には特に影響はないと考えられる。毎年お盆付近は小売が低迷することから、大手業者の不正問題とダブルパンチでの低迷が懸念される。その他は不変であった。(札幌)

●水田地区・畑作地区は、ほぼ順調に進んでいる。
・酪農地区は乳製品の値上げがあり、ギリギリだがなんとか生産を続けている。(全道)

●新型コロナウイルス感染症も落ち着いたことでホテルの食事がバイキング様式に戻り、弁当箱等の納品の減少による売上減となった。(旭川)

商店街

- 7月共通駐車券の利用は、前年同月比32.0%、買物共通バス券は、前年同月比92.0%。大型イベント(国際農機展・インターハイなど)開催により、ホテル

は満室。観光・インバウンドの来街者は、戻りつつある。(帯広)

サービス業

- 地質調査及び建設コンサルタント業界は、受注の大半を公共事業に依存しているため、公共事業、特に建設関連事業の発注内容、量の影響を直に受ける。

・地質調査に関連する公共事業は、大半の組合員で前年に比べて数～10%程度減少している。一方、道央地区の大型民間プロジェクトに関連する業務を受注した組合員もあり、経営状況にはばらつきが目立つようになってきている。
・燃料、電気、資材価格等の原価高騰により、全組合員が相変わらず厳しい経営環境下にあるが、「仕方がない」「人件費を含めてゆるやかな価格上昇は積極的に容認しなければならない」等の意見も経営者サイドからも出てきており、経営者マインドが徐々に変化しつつある。(全道)

- 状況は変わらず、燃料用重油の止まりや電気料の大幅な値上がりが営業に大きな影響を及ぼしている。10月1日より入浴料金が10円の値上げとなる。(全道)

●相変わらずの技術人材不足が叫ばれる中で、道内中小IT企業に1990年前後に

入社したバブル世代の60歳定年が間近に迫ってきて、さらに人材が不足する懸念が強まっている。熟練した技能を終わらせないためにも、シニア人材の一層の戦力化の検討を始めたIT企業が増加している。定年の延長や再雇用制度や役職定年制の廃止を通じてシニア人材の活用を促進しなければ、人材の絶対数が確保できず、増え続けるシステム開発案件に対応できないだけでなく、事業の存続にも影響することになってしまう。シニア人材自身も、就労に意欲的でもっと長く働きたい人が多い。今後は、給与水準や待遇を整備して、シニア人材の働く場所の確保と役割と意欲を持続させることが必須となる。道内は中小IT企業が多く経営基盤が脆弱で、代表者の高齢化による後継者問題やM&Aを含めた事業承継問題を抱える企業が多く、シニア人材の活用と併せての対策が急務となってきている。(全道)

- 集客人数前年比120%(コロナ前比91%程度)。インバウンドの回復が大きいものの、コロナ前との比較では60%前半程度。

・前月と同様に、燃料の高騰、食材、資材の値上げ、バス運転手不足、人手不足などの課題解決に向けた対策を期待する。(十勝)

- 現場要員の不足(新規に確保できない)により、仕事量の調整で対応せざるを得ない。(旭川)

建設業

- 受注件数の増加と受注価格の上昇により売上高が増加しているものの、原材料費及び人件費の増加に伴い、収益は必ずしも好転しているとは言えない状況となっている。

・ただし、受注件数の増加及び売上高の増加から景況は好転の兆しが見え始める。また、雇用人員の大きな減少はないものの、新たな人員の雇用に関しては厳しい状況にあり、事業量の増加に伴う必要な従業員の確保ができない状況にある。(札幌)

●公共工事、民間工事とも、コロナ期に発注量が抑制されてきたところから回復し、コロナ前の発注量に回復してきた。官庁工事は、全体的に(建築工事、設備工事も含め)入札参加業者が減り、特に設備工事で「不調」(参加者無し)のため、工事自体が延期になるようなケースも増えてきた。今後ますます民間工事の増加が見込まれるため、電気工事も「不調」が起こりうる懸念がある。

・資材高騰、人件費高騰により、発注金額の改善交渉等も取り組んできたが、十分とは言えないものの、ある程度増額している。民間工事の発注価格が改善傾向にあることが、官庁工事の「不調」に繋がっており、業界団体に官庁積算の改善について陳情している(民間工事が高くなれば、官庁工事も上げていただかないと入札参加者が居なくなるということ)。
・発注価格は、ある程度改善しているものの、材料費、人件費、光熱費、その他経費の高騰により、収益状況は改善していない。

・雇用人員について、新卒者の雇用がかなり厳しい状況。少子化の加速に加え、メーカー、公務員、大手業者の採用が増え、地場中小企業への入職者がかなり厳しい。待遇改善(賃上げ、働き方改革)をよほど進展させないと離職率も更に高まる懸念がある。(全道)

- 【組合員の業況】
7月中旬に残りの本管工事等が全て発注となった。各社とも数本の工事を抱えており、年内は多忙である。

【問題点】
各社とも相変わらず公共工事が忙しく、なかなか個人の水道設備修理にすぐに対応できていない。また、社員の高齢化が改善されない状況が続いている。

【地域の実情】
水田の稲作の作況は良好だが、畑作は水不足気味。市内の建設業関連は、市の発注工事が多いために各会社は多忙である。(名寄)

運輸業

- 売上減少の主な原因は組合員減少によるドライバー不足。

・ドライバー不足により5月末をもって長年携わってきた食料品量販店の配達から撤退した組合員企業があり、8月末にも撤退予定がある。
・仕事はあるのに断らなければならないことが今期より発生したことは、予想していたこととは言え、危機感をつららせている。(全道)

- 農産物の荷動きについて、野菜類は当初低温・少雨の心配が出ていたが、今のところ順調に生育している。馬鈴薯・玉葱類も順調であるが、ここにきて高温・少雨の心配が出てくる。

・一般カーゴの荷動きについては、道内発道外向け貨物が依然少なく、偏りが出ている。
・7月中旬以降、高温が続いているため、飲料水の動きが増加している。コロナによる規制の解除もあり、全般的な貨物の動きは良化している。(石狩)

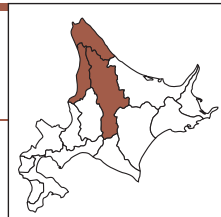
- 売上高は、前年同月比(6月)7.30%増加
・乗務員数は、前年同月比(7月)4.7%減少
・6月分チケット取扱高は、前年同月比39.37%減少(旭川)

支部だより



上川・宗谷支部(旭川市)

所管／上川・宗谷総合振興局・留萌振興局管内
駐在職員／小野事務所長・梅田主事



外国人技能実習生・特定技能外国人を対象とした「サッカー交流会」を開催しました！！

旭川市に事務所を構える、ウエストワード協同組合(外国人技能実習生受入監理団体 岸本直仁理事長 組合員数39名)と株式会社グローバルセトル(組合事務局の松川氏が代表取締役を務め、特定技能外国人の紹介・登録支援機関業務を実施)が主催で、7月16日に旭川市内のサッカー場において、外国人技能実習生・特定技能外国人を対象とした「サッカー交流会」を開催しました。

コロナ禍により4年ぶり、通算2回目の開催となり、



ベトナム・ミャンマー・モンゴルの外国人技能実習生・特定技能外国人や受入企業や、本事業を応援され

る方など約80名が集まり、4チームによるトーナメント戦を行いました。外国人技能実習

生・特定技能外国人の選手達は笑顔なしの本気モードで、真剣勝負の試合が展開されました。

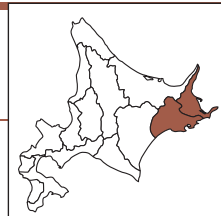
優勝チームには、トロフィーと賞金5万5千円(1チーム11人で1人5千円相当)が贈られ、準優勝チームにも賞金3万3千円が贈られました。

外国人技能実習生・特定技能外国人・受入企業それぞれで楽しい時間を過ごし、お互いの交流が生まれることで相互理解にもつながり、外国人技能実習制度等の適正な運用にも資する取組みとなりました。



釧根支部(釧路市)

所管／釧路総合振興局・根室振興局管内
駐在職員／長谷川事務所長・高橋主事



どんぱく祭りが開催されます！！

今年第20回の節目を迎える「第20回釧路大漁どんぱく」の開催が10月14日(土)、15日(日)に決定しました。場所は釧路市観光国際交流センター前庭と幸町緑地がメイン会場となっております。

例年9月に開催されていますが、今年度については、「第42回全国豊かな海づくり大会」が9月中旬に厚岸町で開催され、釧路市も、関連行事が開催されることから10月の開催となりました。お祭りの目玉は道内最大級の三尺玉大花火を打ち上げる「釧路大漁どんぱく花火大会」です。加えて、4年ぶりに「釧路すえひろはし



ご酒大会」・「いい味イキキくしろ」といった名物コーナーも復活します。他にも「農業・農村

フェアin KUSHIRO」やステージイベント、屋台等が会場内に設けられ、盛大に秋の釧路を盛り上げます。

なお、コロナ禍以前(2019年度)の来場者数は32万600人であ



り、昨年は12万人という結果でしたが、本年度は行動制限等も大幅に緩和されたため、昨年以上に賑わうことが予想されています。

是非この機会に、秋の夜長に釧路で行われる「第20回釧路大漁どんぱく」へ皆様も遊びに来てみませんか？

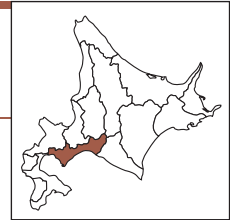
～開催スケジュールは次のとおりです～

イベント名	日	時間
釧路大漁どんぱく花火大会	10月14日(土)	18:30～19:20(予定) (19:10頃三尺玉打上げ)
農業・農村フェア in KUSHIRO	10月14日(土)	11:00～15:00(予定)
	10月15日(日)	11:00～14:00(予定)



胆振支部(室蘭市)

所管/胆振総合振興局管内
駐在職員/若狭事務所長・渡辺主事



協同組合登別中央ショッピングセンターの新たな取組 ～新聞エコバッグで『子ども食堂』応援募金!!～

協同組合登別中央ショッピングセンター(亀谷和人理事長、組合員11人、以下「アーニス」と言います)は、地元の事業者と連携して新しい地域貢献活動を始めました。

この活動は、アーニス内にある募金箱に寄付をしたお客様へ「新聞エコバッグ」を配布しているものです。このエコバッグは、地元のデイサービスセンター「ツクイ登別幌別」の利用者が手作りしたもので、集められた募金は子ども食堂を運営するNPO法人「ゆめみ～る」へと寄付され、市内の子どもへの食事支援などの取組に活用されます。



当組合の亀谷理事長は、「デイサービスの利

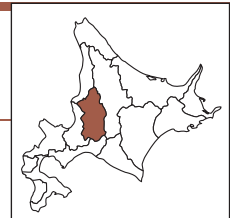
用者はエコバッグの作成を通じて新しい生き甲斐が見つかり、地域住民や訪問者は環境に優しいエコバッグが手に入り、地元の子供たちは子ども食堂で食事の機会を受けられます。地元で、良い循環ができてるように思います。」と語られました。

アーニスではこの他にも、店舗内で様々な地域貢献の活動を行っております。登別市を訪れる際は、ぜひアーニスにお立ち寄りください。



空知支部(岩見沢市)

所管/空知総合振興局管内
担当/連携支援部 外川主査



北海道中小企業くみあい祭りに空知支部から 黒千石事業協同組合が出展しました!

7月22日(土)、23日(日)に札幌市のサッポロファクトリーで開催した、大会主催の「第2回北海道中小企業くみあい祭り」に、空知支部からは、黒千石事業協同組合(高田幸男理事長、組合員58人)が出展しました。

当組合は、共同加工事業や共同販売事業を行っており、黒千石大豆を加工し、大豆ミートやドン菓子、きな粉などバラエティに富んだ加工食品を販売するなど、



黒千石大豆を世に広めるための様々な活動を行い、昨年に続き2回目の出展となりました。

今回も上記商品や黒千石大豆茶など、加工品のPR及び販売を実施し、高田理事長による

「幻の黒千石」として世の中から消えかけた黒千石大豆の生産復活に関するエピソードや黒千石大豆に含まれる健康機能性などの熱意ある説明を受け、来場者が続々と商品を手取る光景が見られました。

また、高田理事長より「くみあい祭りは出展者としても出展者同士の交流を行うことができ、他業種の取組などを知ることができる魅力あるイベントである。」と感想をいただいたように、「北海道中小企業くみあい祭り」は、業種を問わず様々な体験(見て、聞いて、食べて、体験して)を通して組合の魅力を発信できるイベントです。今回出展いただきました組合様はもちろん、興味を持たれた組合様も次回開催時には、ぜひ出展し、広く業界PRを行っていただきたいと思います。

中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
概要は、旭川校のホームページをご覧ください。(右のQRコードからもご覧頂けます)



No. 27 人事・労務管理の基本と実務

札幌開催

基礎から学ぶ労務管理とトラブル対応策

9月20日(水)～22日(金)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者



労務管理の基本、法律改正のポイントを学びます。
また、トラブル事例等から企業が備えるべき労務管理を学び、自社の労務管理の点検に取り組みます。

No. 205 次世代トップリーダー研修

稚内開催

我が社の進むべき道を定め、行動できるリーダーを目指す

9月21日(木)～22日(金)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者



次世代を担うトップリーダーに求められる役割・心構えを学び、演習を交えて自社の将来ビジョンを描き、今後の成長シナリオや自身の行動目標を検討します。

No. 28 営業力を高める 顧客ニーズのつかみ方

顧客の心をつかみ、売上アップを目指す営業の仕組みづくり

9月26日(火)～28日(木)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者



マーケティングと行動経済学を活用して潜在ニーズの掘り起こし方を理解し、自社の「売れる仕組み」を考
えることで、新しい顧客の獲得を目指します。

No. 29 組織風土づくりの考え方・進め方

札幌開催

イキイキと働ける職場づくりと組織の活性化

10月4日(水)～6日(金)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者



働きやすい職場環境を整え、メンバーの能力を最大限に引き出す組織風土をつくるために、どのように組織を変革していくのか事例を交えて学びます。

No. 204 次世代トップリーダー研修

網走開催

後継者・経営幹部のための経営力強化研修

10月11日(水)～13日(金)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・後継者・管理者



環境変化に適応するための経営のあり方や求められる役割・心構えについて学びます。また、今後の組織の成長シナリオや自身の行動目標を検討します。

No. 30 ブランディング実践講座

NEW

顧客をファンに変える方法を学ぶ

10月12日(木)～13日(金)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：経営者、経営幹部



実際に自社のブランディングに取り組むとともに、企業ブランドを新商品開発や人材採用に効果的に活用していく視点と方法を学びます。

講座内容詳細は 初めてのの方は

資料請求や講座内容についてお気軽にお問い合わせください。

電話 0166-65-1200 / FAX 0166-65-2190

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

住所 北海道旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校 旭川校



国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。/

契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします



経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

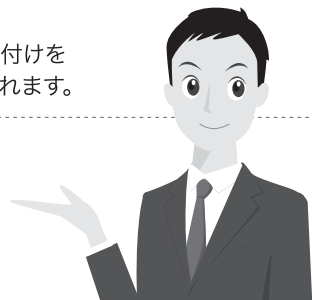
2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

取引先の倒産から
会社を守る制度です！

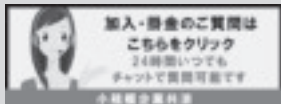


共済相談室 TEL.050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00～17:00

チャットボット

なら
24時間・365日
お問い合わせに
お答えします

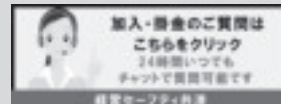
加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。
詳しくは下記のQRコード又はホームページからご確認ください。



小規模共済



検索



経営セーフティ共済



検索



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 3-1-20	TEL : 011-241-7231
函館支店	〒040-0001 函館市五稜郭町 33-1	TEL : 0138-35-5022
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南 9-23	TEL : 0155-23-3185
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通 9-1703-81	TEL : 0166-26-2181
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町 1-1-1	TEL : 0154-42-0671

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <https://www.h-chuokai.or.jp>

発行日/2023年9月1日(毎月1日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。

